

第1回町文化財保護審議会会議録（概略）

開会 平成26年7月10日 午後2時 第2会議室

開会あいさつ（秋田会長）

昨年、伊勢神宮の式年遷宮に参列した。多くの説明を聞いて自分たちが知らない長い過去の地域との関わりの中で現在があると感じた。その関わりを大切にすることが文化財の保護にもつながるのではないかと感じている。

議事：進行（秋田会長） 会議資料にもとづき進めます。

事務局：平成26年度の文化財保護事業について（報告）

のと里山海道の無料化で増加したもの。今後、地域の方々にイベント等で、文化財施設の利用を進めていきたい。

（1）国指定文化財関係報告

・喜多家災害復旧について

平成25年12月20日の落雷被害からの電気設備の復旧
重要文化財建造物内への被害拡大を確認
次年度の事業として、修繕できるよう国、県と協議を進めていく

（2）県指定文化財関係報告

・岡部家災害対策工事

平成25年9月初頭に土砂崩れが発生（資料5Pからの図参照）
岡部家の敷地内に洞窟があり、その洞窟の調査をし、それに対する安全対策をする必要が生じ、測量設計を実施した。

1、岡部家後背斜面の安全対策工事

県の保安林ならびに土砂災害指定区域のため、伐採後に植樹・植生するよう指示を受けた。植樹を含めた対応を検討している。

2、岡部家消防設備改修工事

昭和58年に消防ポンプの設置で、老朽化がかなり進み、石川県補助事業として消防ポンプエンジンの交換を今年度中に実施する予定。

両方とも周辺工事になりますので、岡部家の公開は引き続き行います。

5月にゼンショウジキクザクラの枯枝部分の切除・撤去を樹木医の千木先生、出倉副会長の立合いで実施。

5月22・23日に石川県史跡整備連絡協議会大会を当町で開催。

(3)町指定文化財関係

国・県・町指定文化財で町管理の対象の除草を実施。

その他、町管理施設・資料の借用及び撮影許可等、埋蔵文化財包蔵地確認依頼については文書で受付、文書で回答している。

(4)その他 町からの指摘事項

末森城跡について

1、末森城の見晴らし

樹木の伐採の作業ができないかという話があったが、末森山は日本野鳥の指摘で、樹木の伐採はまずできないため、現在景観の確保されている部分の枝払い等で対応を考えています。

2、石垣等の復元

基本的に発掘調査を実施しないで石垣の復元は出来ない。持ち去ろうとした石は引き上げる等の対応を次年度に対応をはかりたい。

御館館跡について

御館の国指定史跡申請については県と協議を進めていきたい。

その他の対応

町内の志雄・押水時代に作られた文化財に関する看板が、老朽化して見えなくなっているため撤去するか、修繕するかの対応を進める。

山間地域(末森城含む)ではイノシシの被害等が出ている。何らかの対策を県文化財課と協議する。

いしかわ文化財ナビ

県の教育委員会が文化財のHP内に石川県の文化財マップの公開を開始した。今までの遺跡地図、文化財地図を一本化した上で、全部(建造物・史跡・天然記念物・埋蔵文化財)を国土地理院提供の基本図に載せて一般公開を開始した。遺跡の範囲、指定の文化財の場所がずれており、今後、県に訂正をお願いしていく。

秋田会長

報告あった中で委員から意見を。

末森委員

喜多家の文化財パトロールを実施。建物内に虫食い被害が見受けられた。広がらないよう対応を。

落雷被害のあった避雷針の修理は実施してあるのか、今後も落雷は無くならないので、雷対策のための調査が必要ではないのか。

事務局

喜多家の落雷被害は、避雷針への落雷だけでなく、電話線を伝って入った高電圧による被害が大きい。

本来、雷被害は、避雷ユニットで遮断する仕組みとなっていたが、電話線が独立していたことから、内側から配電盤に入り内部を焼いてしまったことが大きな被害となった。

復旧にあたり、外部からの配線を避雷ユニットを通過する様に変更し、落雷があった場合、ユニットで遮断できるように変更した。

出倉副会長

岡部のトンネルの目的、作られた背景を調べてはどうか。これも岡部の歴史の一部であると考え。明治から昭和なら文章で残っていないか、また、地域で聞き取りをしてはどうか。

事務局

岡部の洞窟について地域の方々から聞いた。大正時代ぐらいに瓦に使う釉薬となる石を採掘していた。地域で知っている方がいるか聞いてみます。

出倉副会長

町内にこのようなトンネルがいくつかあり、所司原のは江戸時代のもので、トンネルの流路を替えた後の川の跡を水田にしている。所司原の子浦川ダムの下、漆原、原の村杉にもトンネルがある。

出倉副会長

宝達高校が末森城に植えた桜の木はどうなったのか。

事務局

宝達高校の植えた桜はかなり大きくなったが、若宮丸の東側本丸は、桜の木は倒れたり、

枯れたりしている。桜の咲く時期は多くの人がある。

秋田会長

町の埋蔵文化財には、全て看板が置いてあるのか。

事務局

全てではありません。予算の範囲内で少しずつ、直しています。合併時に名前を一斉に変更し10年経ち、腐って倒れたりしているので順次交換したい。

秋田会長

ホクリクサンショウウオは県の希少動植物種に指定されて、保護の対象になっているが、県は保護するための予算を付けていただけなかった。今、石川県のホクリクサンショウウオの産卵場所の中で最大の場所かと。あそこが失われたら能登の里山の値がなくなってしまふ。

事務局

羽咋市の産卵地整備を行った業者に一度見ていただき、どの程度の費用で産卵場所の維持が出来るか問い合わせしてみます。(秋田会長・末森委員と現地確認を行った)

秋田会長

中能登大会の件についてお願いします。

事務局

能登文化財保護連絡協議会 中能登大会について

期日：10月15日(水) 場所：中能登町「ラピア鹿島」

能登文化財保護連絡協議会 自然保護部会について

期日：9月5日(金) 場所：中能登町(石動山ほか)

あわせて、今年度の能文連第48輯は末森委員から表題「お太子さん縁起と末森明神」、副題「末森山から鳥毛山 宿・西照寺の歩み」で原稿を出しております。

意見交換

出倉副会長 ゼンショウジキクザクラについて

県央農林事務所の樹木医の千木先生の指導の下、枯枝の除去を実施。本来、枯枝は木自身が自然と落としていくものだが、寺の境内にあり、人の出入りがあるため危険と考え切

除した。本木以外に境内に子が 1 本、他の所司原地内に 3 本ほどある。町も力を入れて枯らさない対応を取ってほしい。

山岸委員

古墳公園にも 1 本植えてあったと思う。

事務局

古墳公園については、花の咲く時期にでも 1 度確認に行きます。

山岸委員

原木で言えば、「菅原のこんねり」や、上田の紋平柿の木などがあるはず。現在も原木が残っているかわからないが、現存しているなら「種」として指定してはどうか。

事務局

原木について、現存しているかどうか確認し、樹木の研究者に見ていただいた上で、審議会に提案できるよう対応していきたいと思います。

閉会あいさつ(出倉副会長)

今日の会を通していかにして保存するか、継承するかという話で一本筋が通っていた気がします。文化保護、物の保護、形のないものの保護、形があってもなかなか見えないものを見えるようにする保護、そういうものが共通していたなと思います。これからも町・県・国一緒になって保護のために尽くしていただくことを願って閉会のあいさつとさせていただきます。